

瀬戸焼振興ビジョン パブリックコメントの実施結果

- 1 意見募集期間 令和4年7月1日（金）から令和4年8月1日（月）まで
- 2 意見提出人数 2名
- 3 意見件数 10件
- 4 意見への対応
 - A 意見を踏まえて、案の修正をするもの 0件
 - B 意見の趣旨や内容を盛り込み済みであり、考え方を説明するもの 3件
 - C 今後の事業実施の参考とするもの 7件
 - D その他（意見として受理するもの） 0件

5 意見及び市の考え方

意見No.	意見	市の考え方	対応
1	アンケート調査の結果が芳しくなかったのに前回と同じような枠組みで検討されているのが問題です。瀬戸市地場産業振興ビジョン策定では長い時間と外部からの評価なども積極的に取り入れて策定されました。10年という区切り、コロナや原材料高騰、IT技術の変化など世の中の変化にビジョンの改定方法自体が対応できていないと思います。	本ビジョンは、各種統計資料、事業者等へのアンケートや意見聴取、社会情勢等を鑑み課題等を抽出し作成しているところですが、具体的な事業を進めるに当たっては、瀬戸焼関連産業を取り巻く状況や社会情勢の変化に対応した取り組みを推進していくことが重要だと考えています。	B
2	多様な意見を反映するために委員会とワーキングという二重構造をやめ公募や外部識者、ツクリテセンターコーディネーターなど参加してはどうでしょうか？	ビジョンの改定に当たっては、多様な意見を反映するために関係団体から推薦された方々等で組織するワーキンググループや関係団体の代表者等で組織する改定委員会からご意見をいただき、その意見を踏まえて取りまとめたものとなっております。	B
3	項目 V 瀬戸焼振興の課題解決に向けた戦略での取り組み例では過去に成果が無かった、役割を終えた事業や何のためにやるのかが疑問に思える項目もあります。限られた予算を活かすために各事業者などを交え0ベースで検討すべきだと思います。	取り組み例につきましては、今後想定される事業を例示したもので、具体的な事業を進めるに当たっては、その目的や期待する効果などを十分に検討し、事業者が関連団体等と連携を図りながら取り組んでいくことが重要とと考えています。	C
4	瀬戸焼の産業は長い時間をかけて弱って来ているので、必要なのは何が悪いのか？どうしたら良くなるのか？という体質改善であり、一時的に元気になったように見えるイベントなどの劇薬は反動が出て効果が切れると意味を成しません。	一過性の取り組みではなく、持続的な効果を生む取り組みを推進していきたいと考えています。	C
5	振興ビジョンで行う補助金事業の効果が行った組織の利だけで無く、そこからどれだけ広げられたかが重要であり、SNSの数やwebの閲覧数、売り上げなどそれぞれの事業に対して数字として確認することが必要です。	今後実施する事業につきましては、実施する団体において適切な目標を掲げたうえで事業を実施することを推進していきたいと考えています。	C
6	募集した事業に対して応募者が少ない場合、告知が足りないのか？必要とされていないのか？支援が違うのか？を精査を行う必要があり、手段の目的化や実施のミスマッチを防ぐことが大切だと思われます。	事業を進めるに当たっては、その目的や効果、実施方法等を十分に検討し、事業者が関連団体等と連携を図りながら取り組んでいくことが重要とと考えています。	C
7	卒業生や修了生など若い作家の定着の為にどんな支援と施策が必要なのかをターゲットに対してヒヤリングして決定する。とくに家と工房を借り製作を続ける若い作家にたいしての支援が間違っているという声を聴きます。今回の改定ではそのような人々から意見を聞く場がなかったと思います。	具体的な事業を進めるに当たっては、関係者や関連団体等と連携を図りつつ、効果的な事業となるよう取り組みを推進していきたいと考えています。	C
8	創業と継承では必要な支援がちがうので多様な声を反映する仕組みを各団体も協力しながら作り上げていく必要があります。今後いっそう閉められる事業所が増えていくと思います、使う事の無い道具や資材などを次にシェアする為の施策や工場をリノベーションして、貸工房にするための資金調達などで支援があれば良いと思います。	具体的な事業を進めるに当たっては、関係者や関連団体等と連携を図りつつ、効果的な取り組みとなるよう取り組んでいきたいと考えています。	C
9	瀬戸焼を通して瀬戸焼が生まれた町を知って貰う。町を通して生まれる瀬戸焼を知って貰う。単に利益などを求めるたり短期的な結果を求めるのではなく、改めて瀬戸焼の文化を関係者すべてで共有することが一番大切だと思います。	瀬戸焼関連産業の伝統・文化はまぎれもなく本市のアイデンティティであり、地域の誇るべき財産であると認識しております。瀬戸焼に対する誇りを育んでいくことで、産地全体で支える機運を醸成していけるよう、取り組んでまいります。	B
10	産業の施策目的は、「稼ぐ力」を増強することであり、行政が歳出予算を使って行うアウトカムは、ズバリ税の確保に他なりません。本来産業政策とする事業のアウトカムは、例えば生産量であり、販売額であり、雇用であり、税額（事業所税だけでなく購買に伴う消費税等）を明確に数値化することにあります。これを中期事業計画スパンでアウトプット指標をKGI、つまりパフォーマンスではなくゴールとすべきです。瀬戸焼の課題が市場の認知不足であるはずがありません。「こういうことにおこう」としたアウトカムは避けていくべきです。	市として税収を上げることは重要な課題であることと認識しております。一方で、暮らしやすさにつながる雇用や観光産業等への波及効果も重要であると考えていることから、その評価の方法については今後の参考とさせていただきます。	C